

2010年5月14日

外務大臣 岡田 克也 殿
外務副大臣 武正公一 殿
福山哲郎 殿
外務政務官 吉良 州司 殿
西村 智奈美 殿

ODA 見直しに関する提言の提出について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び致します。

さて、現在実施されております外務省の ODA の見直しに関しまして、別添のとおり提言書を提出致します。

先般行われました ODA に関する事業仕分けにおいても、審査の強化が提言されておりますが、私たちは、予算の限界の中でも、別添の提言にあるような、体制および機能強化により、ODA の質を高めていくことは可能であると考えています。具体的には、①予算配分を大規模インフラから人間の安全保障分野へ、②効果的な案件に集中するための体制～除外リストの設定、③審査・事前評価及び事後評価体制～独立評価局の設置、④無償資金協力の趣旨の明確化——の 4 点です。

本提言のとりまとめに当たっては、ODA や日本の公的融資案件を含む 15 事業のレビューおよび大規模事業をとりまく途上国の社会状況の検討を行いました。

ご査収の上、ご検討いただければ幸いです。

敬具

提言書連名団体および個人：41 団体

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN、AM ネット、(特活) ARBA、ATTAC 京都、国際環境 NGO FoE Japan、NGO 福岡ネットワーク (FUNN)、ODA 改革ネット九州、ODA 改革ネットワーク、ODA 改革ネットワーク関西、WAYAWAYA、(特活) WE21 ジャパン、(特活) アーユス仏教国際協力ネットワーク、アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム (FNA)、(特活) アジア太平洋資料センター (PARC)、アフリカと神戸俊平友の会、インドネシア民主化支援ネットワーク、エコロ・ジャパン、太田川ダム研究会、(特活) 開発教育協会、「環境・持続社会」研究センター (JACSES)、(特活) 関西 NGO 協議会、関西フィリピン人権情報アクションセンター、(特活) 草の根援助運動、グリーンピース・ジャパン、原子力資料情報室、債務と貧困を考えるジュビリー九州、市民外交センター、ジュビリー関西ネットワーク、水源開発問題全国連絡会、セブ・ボホールネット、(特活) 地球の木、ティナラク織の会「カフティ」、途上国の債務と格差を考えるジュビリー滋賀、日本環境法律家連盟 (JELF)、日本国際ボランティアセンター (JVC)、日本湿地ネットワーク、人と自然の研究所、ビルマ情報ネットワーク、ビルマ市民フォーラム、フィリピン情報センター・ナゴヤ、(特活) メコン・ウォッチ